

## 目録システムの改善と機能追加について

1. No.1でお知らせして、実施が延期されておりました下記の7点については、1月23日(金)より実施いたします。当初の期日より大幅に遅れましたことをお詫びいたします。  
(1)所蔵巻年次の追加(2)LOOKUP先での許容コマンドの拡大(3)洋図書入力での「Pファイル参照(4)コードフィールドでの大小文字の自動変換(5)各種資料番号の表示(6)TURNコマンドの機能追加(7)所蔵詳細表示への項目追加

2. さらに次の4点について、現在準備中です。実施日時が決まり次第、おってお知らせします。

- (1) LINKTOコマンドの機能変更

現在は、リンクフィールドデータから「AKEY」を作成して検索画面に表示している。変更後は、「AKEY」を作成することを止めて、データ本体を、検索画面上の「TITLE」または「AUTH」に表示し、それによって自動検索する。

→[図 1-1](#)、[図 1-2](#)

- (2) 簡略表示画面項目の追加(巻次)

巻冊次等(VOL)およびPTBLの番号等を、簡略表示画面に表示する。

→[図 2](#)

- (3) 雑誌の継続受入れコード(CONT=+)の検索キー化。

雑誌所蔵検索画面に「CONT」というフィールドを設ける。

→[図 3](#)

- (4) 教育用トランザクションレコードの明示。

教育用で作成されたレコードは、IDのうしろに「(教育用)」と表示する。

→[図 4](#)